

○ナロー 1/48 16.5mmゲージ

洋白（一部真鍮）製 トータルキット ¥34,980（本体価格：¥31,800）
（台車・車輪・インテリア・インレタ付き）

“しらかば”と命名されたこの特異な車両は、戦前の草軽電鉄（草津電気鉄道）に実在したもので、大正時代の長物貨車“チト62”を改造の上、夏季納涼客車（サンマーカー）として、昭和8年にデビューしました。製作は1両のみ。同時期に登場した“あさま”と共に“白樺電車”と親しまれ、戦前の古き良き軽井沢のイメージしのままに、L型や凸型のデキに引かれて行き来しました。

登場時は、無蓋貨車そのもののような車体のコーナーに、白樺の原木を柱として屋根を乗せただけの野趣溢れる姿でしたが、1938年になって密閉型へと大改修されます。これがこのキットで再現される、1938（昭和13）年以降の姿です。

これらサンマーカーは、いずれも自社の工場で改造をされたものですが、時代を先取りしたような斬新にしてモダンな姿はスタイリッシュで、そのさわやかな塗装と相まって、一度見たら忘れない強い印象を与えてやみません。

キットでは、その魅力的な姿をできる限り再現するために、コストを無視しても洋白版による構成にこだわりました。また、段違いの引き戸などの“引っこみ”・“出っぱり”を表現するために、全体に0.5ミリ厚板を使用します。テーパのついた天窗部分など非常に繊細な車体、そしてこの車両を特徴づける三角屋根もシャープに表現されます。

塗色については、残されている資料が極端に少なく、それももちろん写真もモノクロのみです。ですので、完成見本の塗色は、あくまでも写真と伝承からイメージしたもの、ということをおことわりいたします。

ステンドグラス部分には、クリアー塗料（ブルー・イエロー・レッド）を使用します。塗装用に原寸の型紙を作りましたので、それに合わせて塗装して切り出して頂く方法になります。車体裾の若葉のイラスト、そして印象的なしらかばのレタリングはインレタが付属しております。

また、車体コーナーの白樺原木の表現、及び室内の椅子（クロスシート・ロングシート）は樹脂パーツが付属しています。

いうまでもなく、台車・s車輪に関しても、スケールの軸距離・車輪径を再現しています。

遊び心溢れる、この見ているだけで楽しい車両が、落葉松の並木の下をデキに引かれて走る、そんな遠い日の光景に想いを馳せながら、工作を楽しんで頂ければと思います。

浅間模型の6作目キット、いつでも全力投球です！

個人製作のガレージキットにつき、少量生産です。お求めはお早めに